

START★ みんなのミュージアム 2019

水の、かたち

スクール × 富山 (Toyama) × アート (ART) = “START”。富山県美術館で、学校の児童生徒のみなさんが主役の展覧会が「スタート」します。今回は、美術家の山口百子さんに参加してもらい、「水の、かたち」をテーマに、富山県内の小・中・高・特別支援学校から集まった個性あふれる作品を展示します。会期中には、山口さんが企画した楽しいワークショップ(完成作品は展覧会会場に展示予定)など、アートを体感できるしかけをたくさん用意しています。初春の富山県美術館に、みんな集まれ!

●観覧料：一般500(400)円、大学生250(200)円

高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金 ※企画展
入場当日に限りコレクション展もご覧いただけます。※各種手帳をお持ちの障がい者の方および付添者1名の観覧は無料 ※学校観覧、社会教育活動としての児童・生徒の引率者は無料

★会期中の主なイベント

●山口百子さんとワークショップ

※完成作品は、展覧会会場で展示します(作品は、後日お返しいたします)。

「めぐる水、ひろがる水」※事前申込要

日時：1月19日(土) 13:30～15:30(13:15より受付)
場所：アトリエ(小学1年生から大人まで、定員20名)
A4サイズの絹のパネルに、富山県の名水と、山口さんが住んでいる愛知県の名水を使って水彩画を描いてみよう。
※12/20申込受付開始予定

「あたまでみえる、とつても、おおきくなっていく絵」

日時：1月20日(日) ①10:00～11:30(9:45より受付)、
②13:30～15:00(13:15より受付)※同内容で2回開催
場所：アトリエ(子どもから大人まで、未就学児は保護者同伴、受付順に各回定員20名、事前申込不要)
山口さんの作品の一部を色紙に貼り、そのあと自由にコラージュ(様々なものを貼りつけ)して、コラボ作品をつくってみよう。そして、自分が来たところを地図上にシールでマークして、美術館から大きくなっていく絵を想像してみよう!

●ギャラリートーク

日時：1月27日(日)、2月9日(土) 各日14:00～(約30分)
場所：展示室3・4
参加無料(当日の企画展観覧券が必要)

ちいさな子どもたちのための

●ひよこツアー ※事前申込要

日時：2月8日(金)、9日(土) 各日10:00～(約90分)
場所：アトリエ、展示室(大人は観覧券が必要)
小学校に上がる前の子どもとその家族のためのツアー。
未就学児とその家族(各回定員10家族)
※1/8申込受付開始予定

●アニメーション上映会

日時：2月10日(日)、16日(土) 各日14:00～(13:30開場)
場所：ホール(定員100名)

★アトリエプログラム

予約なし・無料で参加できるワークショップ。
3階ラボ(アトリエ内)に行ってみよう!

●オープンラボ

時間：10:00～16:00
※お昼やイベント開催時は休むことがあります。
平日/土日祝日でプログラム内容が異なります。
詳しくはホームページをご覧ください。

キッズワークショップ

●動物けん玉をつくらう ※事前申込要

講師：手塚明子さん(版画家)
日時：2月3日(日) ①13:00～14:00
②15:00～16:00※同内容で2回開催
場所：アトリエ
小学生以上(各回定員15名)
※1/4申込受付開始予定

※各イベントの詳細・申込み方法(FAX、TELにて当館まで、先着順)はホームページをご覧ください。内容は都合により変更する場合があります。



●JR富山駅新幹線改札口(富山駅南口)から・徒歩：約20分 / タクシー：約10分
バス：富山駅前より約10分 バス停「富山県美術館」下車すぐ
●あいの風やま鉄道改札口(富山駅北口)から・徒歩：約15分 / タクシー：約3分
●富山空港より・タクシー・車：約20分(渋滞なし) ※約9km
●北陸自動車道より・富山I.C.から国道41号経由：約15分
※美術館の駐車場(8:00～22:30)は限りがあり、土日や祝日等は混雑が予想されます。お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用いただくか、乗車の際は恐れ入りますが周辺駐車場をご利用ください。※オノマトベの屋上は冬期休園中(12月1日～3月15日)
〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
TEL: 076-431-2711 FAX: 076-431-2712 http://tad-toyama.jp



富山市立榎尾小学校

「榎尾からおとどけもの～もくっ子、つゆっ子、榎尾っ子～」

榎尾小学校のある八尾町黒瀬谷は、久婦須川の清らかな水が生み出した、樹木・草花・小動物・昆虫等が豊かに生息している美しい地域です。榎尾にたくさん生息している「木」と、水の源になる「露」をイメージした「もくっ子」「つゆっ子」で、美しい自然風景を表現します。さらに加工した丸太を、自然や水のOrigin(オリジン)に見立て、久婦須川の元になる山の源流を表現します。全校児童36名一人一人のイメージを集めて、榎尾の自然の美しさをたくさんの人に届けることができた嬉しです。



富山市立寒江小学校 × 山口百子

「ふるさと寒江の魅力」※アーティストとの共同制作

6年生が「ふるさと寒江の魅力」を伝えたいと願い、美術家・山口百子さんと一緒に取り組みました。全校児童86名が「ふるさと寒江のよさ」を絹本や和紙に描き、和紙の作品は1本のたこ糸でつなぎました。全校児童の思いが詰まった作品、「ふるさと寒江の魅力」を感じていただければと思います。



富山大学人間発達科学部附属中学校

「つながる、」

何がつながる…? 3年生が描いたのは「空」の絵。一人一人「空」を描き、その一つ一つをつなげました。1年生は「水の流れ」のデザイン画。「水の流れ」からイメージする形や色を表し、それらをつなげて大きな流れをつくりました。そして、2年生は木でつくった葉っぱの彫刻。「空」と「水の流れ」の間に漂う葉っぱが2つをつなげています。3つの学年の作品は「自然のつながり」を表現しているのです。



南砺市立城端中学校

「ひろがれ みんなの波紋」

大きな布で、池をイメージしたキャンパスをつくり、全校生徒及び、学習発表会来場者の方にも自由に参加していただき、たくさんの「波紋」を描いていただきました。それら一つ一つが重なり、混ざり、ひとつになったら…!? 不思議な水辺の生き物たちと一緒に、水面を歩くような気分でご覧ください。



富山県立魚津高等学校 + 富山県立魚津工業高等学校

「心を照らす灯り」

航海の安全や大漁を祈願して始まったといわれる魚津たてもん祭り。その魅力や課題などの話を伺い、思いを込めてつくったランプシェードで祭り会場周辺の足下を照らしました。魚津高校2学年美術選択者はたてもん祭りの話を伺った「心」をテーマに、書道選択者は魚津らしいと思う「彩り」をテーマに、魚津工業高校1学年美術選択者は、魚津魚港で水揚げされた「きつとぎとの魚」をテーマに作品を制作しています。富山県美術館で、どのようにみなさんを「照らす」ことができるでしょうか。



星槎国際高等学校 + 星槎学童保育富山

「めぐりめぐるめぐみ」

生命の源である恵みの水。豊かな水の循環は、空、森、川、池、大地、海をめぐってつながります。そして、私たちや他の生物とのかかわりを大切に、命をつないでいます。水の恵を受けた雄大かつ美しい富山の自然。写真、イラスト、スプレーアート、書道アート、文芸、などのさまざまな手法を用いて、高校全校生徒、学童保育児童が、彼らの世界観を表現しています。



富山大学人間発達科学部附属特別支援学校

「すてきなアンブレラ」

水のかたちをみんなで考えてたら、あめつぶ、しずく、うずしお、水しぶき、滝、川、泉、ザーザー、ジャブジャブ、プカプカ…。たくさん思い浮かびました。そのイメージを傘に表現すると、そのデザインは雨の日が楽しくなるようなものばかり。一人一人の世界が広がります。小学部、中学部、高等部の児童生徒たちのすてきなアンブレラの世界を味わっていただくと嬉しです。

やまぐちもこ ★ 今回の招待アーティスト 山口百子さん

愛知県を中心に活躍する美術家。日本画などを制作しながら、地元的美術館との楽しいワークショップを多数企画。今回は、富山市立寒江小学校のみなさんと一緒に、絹の布と、八尾和紙に、「ふるさと寒江の魅力」を描く共同制作を行いました。

- 1965 金沢市生まれ。
 - 1990 愛知県立芸術大学大学院(日本画)修了。
 - 2011 SICF12 スパイラルホール「美術って何の役に立つんですか?」(東京)
 - 2015 フスマ倶楽部展(名古屋)など自身の発表活動も多数。
 - 2017 文化フォーラム春日井「絵画の息づかい、そして…」(愛知)
- 愛知県美術館、名古屋市美術館、刈谷市美術館等、ワークショップ多数、企画。



刈谷市美術館ワークショップ作品



山口百子(水脈) 2017